

静岡市人口ビジョン(案)について (概要)

【人口ビジョンの目的】

地域の持続的な発展のため、第3次静岡市総合計画に掲げた目標「2025年に総人口70万人を維持」の達成に向けて、本市の人口の現状を詳細に分析して将来の姿を示し、人口減少をめぐる問題について市民の認識を共有することを目指すとともに、今後、本市が目指すべき将来の方向（長期的な人口の将来展望）を提示する。

【人口の現状】

- 国、県よりも20年早い1990年から人口減少が始まっている。
- 年少人口、生産年齢人口は減少し、総人口に占める老年人口の割合は高くなっていく。
- 大学進学、就職に係る 18歳から22歳の若者の転出が目立ち、主な転出先は、東京圏となっている。
- 女性は、ほぼ全年齢層にわたって、転出超過となっており、主な転出先は、東京圏となっている。

【人口減少が経済社会に与える影響】

- 生産年齢人口が減少し、産業の担い手である労働力が不足する。
- 消費の減少に伴い市場が縮小し、提供されるサービス等が減り、生活が不便になる。
- 地域社会の担い手が減少し、公共サービスに係る負担が増加する。

【人口減少対策の基本的視点】

- 自然増減については、子どもを2人以上持ちたいとする若い世代の希望実現に取り組む。
- 社会増減については、東京圏をターゲットとして、主に若い女性の移住促進策と市内在住者の流出抑制策に取り組む。

【人口の将来展望】

◆長期的な見通し（2060年）

2025年に総人口70万人の維持を達成 した上で

人口 47万人（本市推計人口）

- ◎ 合計特殊出生率 2040年に2.07（2015年1.40／2025年1.70／2030年1.80）
- ◎ 社会移動 次のターゲットの転入増、転出減を図る。
 - ・ 若年層（18-25歳、特に女性）
 - ・ 中堅層（30-40歳代、特に女性）
 - ・ アクティブシニア層（55-65歳）。

人口 62万4千人（長期的な見通し）程度まで増加

